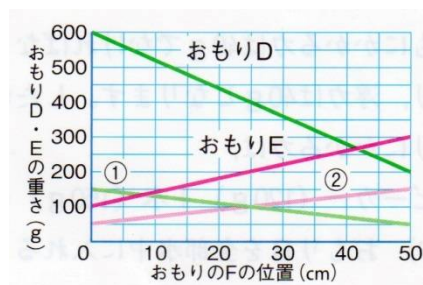


1	80	27	24	47	2
2	20	28	14	48	60
3	100	29	動かない	49	4
4	30	30	10cm 上がる	50	45
5	200	31	5	51	3
6	100	32	50	52	4
7	③	33	150	53	25
8	20	34	100	54	1250
9	⑬	35	10	55	10000
10	20	36	50	56	水蒸気
11	40	37	200	57	70
12	⑦	38	100	58	15
13	⑨	39	2.5	59	等しい
14	6	40	5	60	等しい



15	16	41		61	750
16	270			62	10
17	6			63	100
18	B			64	7
19	25			65	280
20	2.5	42	2	66	280

21 40 ※棒の重さが100gあるため、ばねA = 25 cmで、ばねB = 27.5 cmになっているから、Aを2.5 cmだけ多くのびるようにすればよい。のびは1 cm × ③g : 0.5 cm × ①g = 6 : 1 だから差 = 5 が2.5 cmになる。これより、Bののびの1 = 0.5 cm = 10 g と分かる。よって手が引いている力の④ g = 40 g。

22 100 43 32 AはBの2倍のびているから、A = ②g、B = ①gの重さ(力)がかかっている。  
 100 g × 4(半径) = 400s = ② × 2(半径) + ① × 1(半径) = ⑤となり、⑤ = 400s  
 から① = 80 g が分かり、Bののびは2 cm × 80 g / 10g = 16 cmになる。

23	×	44	16			
24	63					
25	0.8	45	64	16 cm × 4/1 = 64 cm	67	イ
26	110	46	30			

入試で漢字指定が多いため漢字で書けるようにしておくこと。ただし、※印のところは、ひらがなでも正解になります。

1 80

2 40

3 310

4 10

5 10

6 5

7 25

8 20

9 15

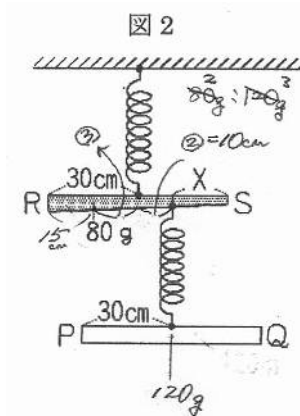
10 45

11 275

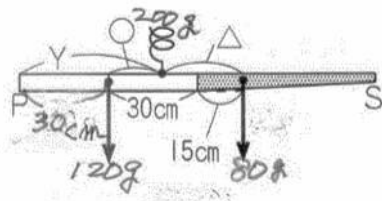
12 315

13 5 ※  $(120\text{ g} + 80\text{ g}) \div 2 = 100\text{ g}$  ずつかかっている。

14 20



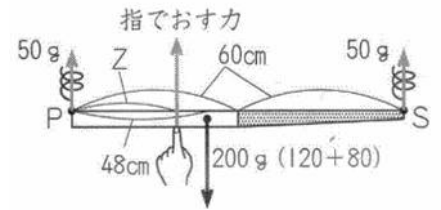
15 48



$120\text{ g} : 80\text{ g} = 3 : 2$  より、 $\bigcirc : \triangle = 2 : 3$  になり、  
 $\bigcirc = (30\text{ cm} + 15\text{ cm}) \times 2/5 = 18\text{ cm}$  だから、 $Y = 30\text{ cm} + 18\text{ cm} = 48\text{ cm}$ 。

16 100

17 36



下向きの力は  $200\text{ g}$  だから、指で押す力  $= 200\text{ g} - (50\text{ g} + 50\text{ g}) = 100\text{ g}$  である。  
 Pを支点とすると、右回りの力  $= 48\text{ cm} \times 200\text{ g} = 9600$ 、左回りの力  $=$  指で押す力  $\times Z + S$  のところの  $50\text{ g} \times 120\text{ cm}$  だから、 $(9600 - 120\text{ cm} \times 50\text{ g}) \div 100\text{ g} = 36\text{ cm}$  になる。

18 40

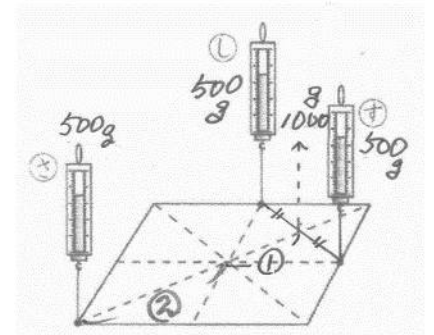
19 60

20 750

21 750

22 375

23 ア



24 900  $500\text{ g} + \boxed{2} (400\text{ g}) = 900\text{ g}$

25 600  $500\text{ g} + 0.5(100\text{ g}) = 600\text{ g}$

